舞鶴市議会最年少議員

鴨田（かもだ）あきつ通信

後援会だより　Vol.13

発行／鴨田あきつ後援会
舞鶴市字境谷158
TEL0773-75-0800
mail k.akitsu3@gmail.com

虎穴に入らずんば虎子を得ず

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年は新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が繰り返し発出され、国民生活に大きな制限を受けた一方、我が国においてもワクチン接種が始まり、秋以降感染者が激減しました。しかしながらここに来てオミクロン株の市中感染拡大が不安視されております。

また一年延期された東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、日本人選手の輝かしい活躍は記憶に新しいところです。政治においては首相が交代し、４年振りに衆議院議員総選挙が執り行われるなど、激動の一年間でありました。

さて今年の干支は「壬寅（みずえのとら）」だそうです。壬寅は厳しい冬を乗り越え、新しいステージに向かう準備段階にあたる年と言われています。令和４年は新型コロナウイルスを乗り越えて、新たな成長に向けて動き出す段階に入る１年になることを期待します。

また冒頭の「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の意味は、「危険を冒さなければ、大きな成果は得られない」です。中国は漢の武将「班超」が兵士に向けて語った言葉に由来しています。

将来にわたって誇れる日本、そして持続可能な舞鶴をしっかり創っていく。そのためには、恐れず挑戦を続けなければならない。そのような決意を新たにしております。私の任期も残り１年を切りました。これからも是々非々を貫き、舞鶴の発展に全力を尽くしてまいります。

最後になりましたが、本年も皆様には変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

令和４年１月吉日　鴨田　秋津

令和３年 12月定例会　東西駅前の活性化やHPVワクチンの積極勧奨について質問！

市では、少子高齢化・人口減少社会においても利便性の高い持続可能な都市構造への転換を図るため、舞鶴版コンパクトシティの実現が進められています。端的に言えば、周辺部には家やお店を極力建てられないようにして、ＪＲ東西駅を中心に都市機能と居住誘導を図ることとしています。その手法を計画したものが、舞鶴市立地適正化計画ですが、**実態が見えてこないため、まちづくりや商店街の活性化などについて質問しました。**

二つ目はHPVワクチンについてです。日本では毎年、約11,000人の女性が子宮頸がんになり、約2,800人の女性が命を失っております。その第一次予防として期待されているのがHPVワクチンですが、平成25年から国は積極的な接種勧奨を中止。以後接種できるものの接種券が配布されない定期接種ワクチンとなっておりましたが、８年ぶりに国はワクチン接種の積極的勧奨を再開すると決定しました。**打つ機会を逃した女性や、男性の接種に対する公的助成の考えなどについて質問しました。**

最後に、令和３年10月31日に執行されました衆議院議員総選挙を総括し、**今後の更なる投票率向上や投票所の課題などについて、**舞鶴市選挙管理委員会に質問しました。なお、来年４月の府知事選を皮切りに参議院選挙、11月市議選、翌年２月市長選、４月府議選と立て続けに予定されています。

１　近未来のまちづくりビジョンについて
- ⑴ 立地適正化計画の進捗について
  - ① ＪＲ西舞鶴駅を中心とした活性化について
  - ② ＪＲ東舞鶴駅を中心とした活性化について
- ⑵ 中舞鶴地区のビジョンについて

２　HPVワクチンの積極的勧奨について
- ⑴ ワクチンに係る本市の見解と接種率について
- ⑵ 国による積極的勧奨が再開されることについて
- ⑶ 接種機会を逃した女性の無償接種について
- ⑷ 定期接種対象外の接種に係る助成について

３　第49回衆議院議員総選挙の総括と今後について
- ⑴ 投票率の向上と選挙管理委員会の使命について
- ⑵ 期日前投票所や投票所等の課題について
- ⑶ 管理者や立会人について

JR西舞鶴駅の東口には約１万㎡の広大な未利用地が残る。民間の事業進出は消極的な現状であることから、新たな視点を踏まえた活用の方向性を検討される。

HPVワクチン接種推進自治体議員連盟

超党派の全国の地方議員で作る「HPVワクチン接種推進自治体議員連盟」が発足。私も名を連ねております。

今回の質問は新聞でも大きく取り上げていただきました。

１の質問の西舞鶴駅の西口は、西駅交流センターの民間を含めた活用調査を進めるとともに、**公共交通の乗降場所を集約するため、駅前広場の整備を実施する**との答弁。２はワクチン接種の積極的勧奨の再開に向けて関係機関と連携し、**適切にワクチン接種が実施できる体制整備を図るとの答弁。**３は**西舞鶴エリアの民間商業施設での投票所設置を目指す**など、投票率の向上に取り組んでいきたいとの答弁でした。

質問の動画は YouTube（ユーチューブ）で いつでも閲覧できます

舞鶴市議会議員の議員定数を削減する条例可決！

令和４年に予定されている時期舞鶴市議会議員選挙から、現状26人から１人削減の25とする条例を可決しました。市では年間に約1,000人の人口減少が進んでおり、この現実を受け止め、**我々の会派は一貫して定数２人減を主張してきました。**

約１年掛けて議論してきましたが、会派制をとっている舞鶴市議会において、現状維持を主張する会派が過半数を占める状況が変わらぬまま議論が続いてきました。最終の結論を導き出すに当たり、採決を行えば、多数決の原理からすると、議会としては「現状維持」との結論が導かれてもやむなしのところ、我々が主張してきた２名減には及ばないものの、議員定数を削減する条例改正に至ったことは、半歩前進できたと捉えております。

現在、市を取り巻く環境は、少子高齢化などの課題に直面しており、こうした現実を認識し、**不断の努力を怠らず、活動に精進する責務が議員にはあります。自らの質を高め、自らが身を切ることが、議会改革の一つと考えております。**そしてこの議論に終わりはなく、４年後も状況に応じて改革していくことを申し添えます。

討論　18歳以下の子ども1人には、10万円一括給付を！

第104号議案は、18歳以下の子ども１人に10万円相当を給付する国の経済対策で、先行して５万円の現金給付を行うための補正予算。**残り５万円について国は、クーポン給付を基本とするよう自治体に求めているが**、印刷などに要する経費や市職員の事務負担も多大になる。国による現金給付の条件が今後示されるが、**残りの５万円の給付方法について、市長には現実的で市民の希望に寄り添った、正しい判断をしていただくことを強く要望する。**（12月９日議決）

第105号議案は、年内に現金10万円一括での給付を行うための補正予算。先の本会議で先行分５万円を現金給付するための予算を可決したところである。市は残す５万円について、国の動向を見てから判断する状況にあったが、その後、政府は現金10万円一括での給付を容認。我が会派では、クーポンにすることで経費や市職員の事務負担も多大になることを指摘。残る５万円についても現金での給付を求めてきた。またこの間、市内の子育て世代から現金での給付を望む多数の声を伺ってきた。そのことから、**残りの５万円についても、現金で、かつ一括で10万円を給付する決断を評価する。**（12月17日議決）

12月定例会より新人事でスタートしました

引続き市民クラブ舞鶴議員団の幹事長に再任しました。常任委員会については、これまで３年連続で子育て、教育、環境、スポーツ、文化などを所管する「市民文教委員会」に所属しておりましたが、新たに建築土木、観光、農林水産などを所管する「産業建設委員会」に所属しました。また、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会にも引き続き所属、副委員長に就任しました。引き続き担いを全うしてまいります。

鴨田秋津プロフィール

1981年11月11日生まれ（40歳）

【学歴】拓殖大学経済学部 卒　【趣味】柔道（５段）、魚釣り
【家族】妻・子ども３人（１男２女）

柔道教室で子ども達の指導をはじめ、各種団体で青少年育成活動等を行っています。

終わりに

舞鶴市東地区中心市街地複合施設（旧マイコム）について書きます。

今12月定例会では、いわゆる旧マイコムを現在の指定管理施設から市の直営管理施設とするため、所要の改正を行う条例改正が可決されました。

これまでの経過をまとめますと、東舞鶴商店街連盟（以下、東商連という）は、**京都府の融資制度から建設費を借り入れ**、平成５年にマイコム立体駐車場を開業したものの、**最終償還期限までに償還できず不良債権化。そこで東商連は、簡易裁判所に特定調停を申し立て、調停案が成立。**

その後、平成25年に舞鶴市が約6,400万でマイコムを購入。平成26年度から指定管理によって管理運営されてきたものの、**駐車場、貸館とも利用実績が低調に推移している実情です。**

また、公共施設の安全性は行政が責任を負うことになっておりますが、老朽化した施設を市が取得したことで、当時から安全面を危惧する声も上がっておりました。

案の定、令和元年度には外壁の一部が落下、安全対策として約700万円を支出して外壁飛散防止ネットを張る事態となり、更に本定例会においても、外壁飛散防止ネットを追加で張る予算約800万が計上されており、**仮設工事だけで既に多くの税金が投入されます。**

当時、市がマイコムを購入した目的は、**東地区における中心市街地の道路交通の円滑化、商店街の振興等を図り、中心市街地の都市機能の向上に資する**ことでした。

今後もそれらの目的を達成するために、老朽化した建物に多額の費用をかけて維持を目指すのか、人口減少社会のなかで、駐車場、貸館の利用が大幅に向上する策を模索していくのか。様々な疑念を抱きますが、いずれにしても直営化するなかで、市民が納得できるような抜本的な改善、あるいは、そもそもの施設の在り方、必要性を早期に示すべきです。

編集部よりひとこと

編集部のＫです。年末の舞鶴は大雪でした。近年降ることが少なったため、これだけ雪かきをしたのも久しぶり。全身筋肉痛で老いを感じます。昔に比べて雪かきをする人が少なくなったように思います。高齢化、地域の希薄化が原因でしょうか。昔は生活道路や通学路など地域の皆さんが集まって皆で一緒にやったもの。こういった時こそ共助の精神が必要ですね。

地域の要望等、些細な事でも構いません。是非お気軽にご相談下さい！
TEL:0773-75-0800　mail:k.akitsu3@gmail.com

ホームページやSNSでは、日々の活動をより詳細に更新しています。ぜひご覧ください。

ウェブサイト　facebook　twitter　Instagram

KAMODAAKITSU